2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月7日

上場会社名 株式会社 ニッピ 上場取引所 東

コード番号 7932 URL https://www.nippi-inc.co.jp/

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)河村 桂作

問合せ先責任者(役職名) 取締役経理部長 (氏名) 井上 善之 TEL 03-3888-5117

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

(),						-		
	売上	高	営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	11,190	1.6	485	120.5	487	51.3	378	97.6
2019年3月期第1四半期	11,372	7.2	220	68.8	322	55.6	191	60.0

(注)包括利益 2020年3月期第1四半期 166百万円 (19.6%) 2019年3月期第1四半期 206百万円 (64.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	131.59	
2019年3月期第1四半期	66.58	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	
	百万円	百万円	%	
2020年3月期第1四半期	68,739	27,925	39.9	
2019年3月期	67,910	27,907	40.4	

(参考)自己資本 2020年3月期第1四半期 27,415百万円 2019年3月期 27,405百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	
2019年3月期		0.00		50.00	50.00	
2020年3月期						
2020年3月期(予想)		0.00		50.00	50.00	

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年 3月期の連結業績予想(2019年 4月 1日~2020年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上	高	営業和	间益	経常和	削益	親会社株主1 当期純		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	22,000	0.6	550	176.6	500	75.2	350	169.7	121.68
通期	45,000	3.1	1,500	80.4	1,400	65.9	900	422.9	312.88

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無 以外の会計方針の変更 : 無 会計上の見積りの変更 : 無 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む) 期末自己株式数 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期1Q	2,889,000 株	2019年3月期	2,889,000 株
2020年3月期1Q	12,514 株	2019年3月期	12,514 株
2020年3月期1Q	2,876,486 株	2019年3月期1Q	2,876,521 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大き〈異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	• 2
(1)経営成績に関する説明	. 2
(2) 財政状態に関する説明	. 3
(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	• 4
(1) 四半期連結貸借対照表	• 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	. 8
(継続企業の前提に関する注記)	. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、米中の貿易摩擦の激化に起因した輸出の下振れを背景に、停滞感は強まりつつあります。一方で、非製造業を中心として国内需要は底堅く、明確な景気後退には至っておりません。今後の景気の先行きは、米中経済対立や中東情勢の緊迫化、中国の過剰債務問題など海外の動向に大きく左右される懸念があります。

このような経営環境のもと、コラーゲン・ケーシングは、国内需要が伸び悩むなか、海外販売での収益改善に取り組んでおります。また、コラーゲンペプチドは好調に推移しており、国内外ともに魚由来製品の価格改定を進めております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、11,190百万円(前年同四半期比1.6%減)となりました。

営業利益は、485百万円(同120.5%増)、経常利益は、487百万円(同51.3%増)、また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、378百万円(同97.6%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① コラーゲン・ケーシング事業

国内販売は、需要の頭打ちの状況が続いており前期並みに推移いたしました。輸出販売は、厳しい価格競争のなか収益改善に鋭意取り組んでおります。一方で、生産面では生産効率が改善されたことなどにより製造原価は低減しております。

この結果、売上高は、2,586百万円(前年同四半期比0.3%増)、営業利益は、254百万円(同6,966.0%増)となりました。

② ゼラチン関連事業

ゼラチンは、カプセル用が好調に推移して増収となりました。ペプタイドは、健康食品用を中心に医薬用なども堅調に推移いたしました。また、魚由来の製品に関しては、収益の改善を図るため、段階的に価格改定を進めております。

この結果、売上高は、2,547百万円(同2.4%増)、営業利益は、244百万円(同12.9%増)となりました。

③ 化粧品関連事業

スキンケア化粧品は、引き続き好調な通販市場を背景に順調に推移いたしました。特にWEB経由での新規顧客の伸張がみられました。健康食品は、新規顧客の獲得には苦戦したものの、既存顧客をリピーターとして維持することができたことで堅調に推移いたしました。なお、化粧品関連での広告効率が向上しており、売上拡大のため、広告宣伝費の投入額を増やしております。

この結果、売上高は、1,138百万円(同5.7%増)、営業損失は、24百万円(前年同四半期は営業利益23百万円) となりました。

④ 皮革関連事業

靴用革、輸入原皮、靴用部材の加工は、堅調に推移したものの、自動車ハンドル用革は、中国国内の景気減速 の影響を受けて苦戦いたしました。

この結果、売上高は、2,544百万円(同4.9%減)、営業利益は、98百万円(同5.6%減)となりました。

⑤ 賃貸·不動産事業

再開発中の東京都足立区の土地賃貸事業は、大規模商業施設、保育所、フットサルコート、駐車場用地のほか、 仮設中学校用地として足立区に期限付きで賃貸しております。また、大阪市浪速区の土地賃貸事業では、駐車場 用地として引き続き賃貸しております。

この結果、売上高は、201百万円(同3.8%増)、営業利益は、160百万円(同5.3%増)となりました。

⑥ 食品その他事業

iPS細胞関連は順調に推移したものの、有機穀物、イタリア食材、肥料、架橋塩化ビニルの販売は、前年同四半期を下回りました。

この結果、売上高は、2,172百万円(同8,0%減)、営業利益は、79百万円(同14,6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は68,739百万円となり、前連結会計年度末と比べ829百万円増加しました。これは主に現金及び預金が784百万円、受取手形及び売掛金が449百万円増加した一方で、投資有価証券が358百万円減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、40,814百万円となり、前連結会計年度末と比べ811百万円増加しました。これは主に未払金などのその他流動負債が1,063百万増加した一方で、賞与引当金が280百万円減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、27,925百万円となり、前連結会計年度末と比べ18百万円増加しました。これは主に利益剰余金が234百万円増加し、その他有価証券評価差額金が255百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2019年5月15日に公表いたしました数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

		(単位:百万円)
	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4, 121	4, 906
受取手形及び売掛金	8, 564	9, 014
商品及び製品	7, 533	7, 526
仕掛品	448	486
原材料及び貯蔵品	1, 221	1, 230
未収還付法人税等	222	220
未収消費税等	366	99
その他	626	867
貸倒引当金	△76	△79
流動資産合計	23, 027	24, 271
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7, 940	7, 801
機械装置及び運搬具(純額)	919	768
土地	27, 535	27, 535
リース資産(純額)	52	46
建設仮勘定	3, 495	3, 698
その他(純額)	137	132
有形固定資産合計	40, 080	39, 983
無形固定資産		
リース資産	8	26
その他	183	159
無形固定資産合計	191	186
投資その他の資産		
投資有価証券	4, 217	3, 859
長期貸付金	36	35
繰延税金資産	29	78
破産更生債権等	5	2
退職給付に係る資産	22	16
その他	396	400
貸倒引当金	△104	△100
投資その他の資産合計	4, 604	4, 293
固定資産合計	44, 876	44, 463
繰延資産	5	4
資産合計	67, 910	68, 739

(単位:百万円)

	26/4// A 31 6-4-	(単位:白力円
	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8, 456	8, 58
短期借入金	12, 421	12, 57
1年内償還予定の社債	160	16
リース債務	32	2
未払法人税等	131	5
未払消費税等	246	12
賞与引当金	501	22
役員賞与引当金	45	2
ポイント引当金	56	5
その他	1, 152	2, 21
流動負債合計	23, 204	24, 04
固定負債		
社債	200	20
長期借入金	8, 226	8, 20
長期未払金	470	46
リース債務	50	4
繰延税金負債	902	89
再評価に係る繰延税金負債	4, 071	4, 07
役員退職慰労引当金	505	51
退職給付に係る負債	2, 130	2, 13
資産除去債務	6	
その他	233	23
固定負債合計	16, 798	16, 70
負債合計	40,003	40, 8
純資産の部		
株主資本		
資本金	4, 404	4, 40
資本剰余金	1, 930	1, 93
利益剰余金	11, 376	11, 6
自己株式	△37	\triangle ;
株主資本合計	17, 674	17, 90
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1, 085	83
繰延ヘッジ損益	$\triangle 3$	Δ
土地再評価差額金	8, 775	8, 77
為替換算調整勘定	114	14
退職給付に係る調整累計額	△242	$\triangle 24$
その他の包括利益累計額合計	9,730	9, 50
非支配株主持分	502	50
純資産合計	27, 907	27, 92
負債純資産合計	67, 910	68, 73

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

		(単位:百万円) 当第1四半期連結累計期間
	(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	11, 372	11, 190
売上原価	9, 129	8, 701
売上総利益	2, 243	2, 489
販売費及び一般管理費	2, 022	2,003
営業利益	220	485
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	83	87
為替差益	46	-
持分法による投資利益	6	2
その他	27	7
営業外収益合計	165	99
営業外費用		
支払利息	47	46
手形売却損	6	7
為替差損	_	34
その他	8	8
営業外費用合計	63	97
経常利益	322	487
特別利益		
固定資産売却益	0	-
特別利益合計	0	
特別損失		
固定資産除却損	0	1
会員権評価損	<u> </u>	1
特別損失合計	0	3
税金等調整前四半期純利益	321	483
法人税、住民税及び事業税	67	49
法人税等調整額	39	41
法人税等合計	107	91
四半期純利益	214	392
非支配株主に帰属する四半期純利益	22	13
親会社株主に帰属する四半期純利益	191	378

四半期連結包括利益計算書 第1四半期連結累計期間

		<u> (単位:百万円)</u>
	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	214	392
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13	△256
繰延ヘッジ損益	1	$\triangle 4$
為替換算調整勘定	△35	35
退職給付に係る調整額	12	_
その他の包括利益合計	△7	△226
四半期包括利益	206	166
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	183	154
非支配株主に係る四半期包括利益	23	11

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。